

「バラ解説」をご利用いただくにあたり

この度はご採択を賜り、誠にありがとうございます。

つきましては、「バラ解説」をご利用いただく場合の留意点等、ご一読の程をお願い申し上げます。

従来「解答解説書」の問題点

- ・「解答解説書」を先に渡すと、「答え」を丸写しして…勉強にならない。
- ・かといって、1冊終えた後に渡しても…読まない。
- ・その都度「バラの解答解説」を用意しても…読まない。



★「解説」を読むことで学習効果が上がるのに…読ませたい、考えさせたい。

「問題集」の「解説書」と「解答書」を分けたねらい

○「バラ解説」でない場合の構成と使用例

構成（本書1冊／解答書1冊／解説書1冊）

・本書と解説書を同時に配布。

☆問題を解くにあたり、解説書を読みながら解きすすめていく…読む。

（「解答そのもの」は掲載していないので「丸写し」はできません）

1回ごとに配りたい場合

「バラ解説」の構成と使用例

構成（本書1冊／解答書1冊／バラ解説 問題数分／

解答PDF）

・本書の一題を解いた後、バラ解説（一回分）を配布。

必要によって、本CD-R内の「解答PDF」を掲示。

☆問題はまず自力で解く。

頭に残っている内に、解説書を…考える、読む。

熟読する必要はありませんが、上記いずれの場合も「解説を読む」ことを習慣づけることにより、国語の設問に対する「既視感」や「気づき」等、大幅な学力の向上が期待できるはずです。

問二

⑥ ㊦ イタワリ ㊧ ㊦ ヨツテ ㊨ ㊦ オモイケン ㊩ ㊦ ワキマエズ

〈3点×4〉

問三

⑦ ㊦ ワ 行 エ 段 ㊧ ㊦ ワ 行 オ 段

〈3点×2〉

問四

(1)

	ワ行	ヤ行	ア行	
	わ	や	あ	ア段
	ゐ	い	い	イ段
	う	ゆ	う	ウ段
	ゑ	え	え	エ段
	を	よ	お	オ段

(2) 1 ㊦ いる 2 ㊦ すえ 3 ㊦ かかく

〈1点×6〉

4 ㊦ ゆうれい 5 ㊦ ちようど 6 ㊦ おうぎ

問五

その膝に登り舐りまはる

〈6点〉

問六

(子犬のように) 主人に可愛いがられたいと思った(から。)

〈10点〉

問七

イ

〈7点〉

問二

ア || エ エ || ウ

〈3点×2〉

問三

(1) イ || いうよう ウ || なんじ

〈2点×2〉

(2) イ || ユーヨー ウ || ナンジ

〈2点×2〉

問四

(1) a || コ b || オ c || ア d || ア e || イ f || カ

〈1点×6〉

(2) こ の 亀 を も と の 海 に 返 し け り

〈4点〉

問五

1 || ク 2 || ケ 3 || イ 4 || カ 5 || ウ

〈1点×10〉

6 || エ 7 || オ 8 || キ 9 || ア 10 || コ

〈6点〉

問六

ア

〈6点〉

問七

長生きする 〔別解〕 命の長い

〈10点〉

3

説話

こほんせつわしゅう
古本説話集

本書 ↓ p. 8 / 解説書 ↓ p. 12

問一

① 〓 和泉式部 ② 〓 和泉式部 ③ 〓 保昌 ④ 〓 保昌

〈2点×4〉

問二

A 〓 が B 〓 時 C 〓 を D 〓 が E 〓 を F 〓 が

〈2点×6〉

問三

鹿がひどく鳴いているので

〈8点〉

問四

② 〓 ア ③ 〓 エ

〈7点×2〉

問五

イ

〈8点〉

問二

(1)

	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用行
㍿	いふ	い	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	八行
㍾	あやまつ	あやま	た	ち	つ	つ	て	て	タ行
㍿	負ふ	負	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	ハ行

1点×3

問三

(2)

1 問は

2 問は

3 問は

4 問は

5 問は

2点×5

① 子猿 ② 大猿

5点×2

問四

大猿が子猿を木の股に置こうとすること。(19字)

12点

問五

ア

7点

問六

ウ

8点

5

随筆

玉勝間
たまかつま

本書↓p. 12／解説書↓p. 20

問二

(ア) ㊦エ ㊧㊦ア

〈3点×2〉

問三

(1) ㊦㊦ナ行下二段活用・已然形

〈3点×3〉

(2) ㊦㊦ヤ行上二段活用・連用形 ㊦㊦ヤ行下二段活用・連体形

〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
寝	(寝)	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ	ナ行下二段活用
過ぐ	過	ぎ	ぎ	ぐ	ぐる	ぐれ	ぎよ	ガ行上二段活用

問四

ウ

〈6点〉

問五

見つけることができない。

〈6点〉

問六

いとあまたゝもてゆかむ

〈8点〉

問七

口惜しき(4字)

〈5点〉

問八

エ

〈8点〉

6 説話

古今著聞集

本書↓p. 14／解説書↓p. 24

問二

ア ア イ ウ

〈3点×2〉

問三

〈2点×4〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
㊦	(居)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	ワ行上一段活用
㊧	(着)	き	き	きる	きる	きれ	きよ	カ行上一段活用
㊨	(蹴)	け	け	ける	ける	けれ	けよ	カ行下一段活用
㊩	(見)	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ行上一段活用

問四

(1) ア

〈6点〉

(2) ・鷹を手に据ゑたるほど (10字)

〈6点×2〉

・平笠を着たるほど (8字)

〈8点〉

問五

エ

〈10点〉

問六

エ

〈8点〉

問二

(ア) 大切に育てる (イ) 下旬

(4点×2)

問三

(b)

(6点)

問四

(1)

(1点×3)

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
死ぬ	侍り	あり	死	侍	あ	ら	ら	ナ行変格活用
死ぬ	侍り	あ	な	ら	ら	ら	ら	ラ行変格活用
死ぬ	侍り	あ	に	り	り	り	り	ラ行変格活用
死ぬ	侍り	あ	ぬ	り	り	り	り	ナ行変格活用
死ぬ	侍り	あ	ぬ	る	る	る	る	ラ行変格活用
死ぬ	侍り	あ	ぬれ	れ	れ	れ	れ	ナ行変格活用
死ぬ	侍り	あ	ね	れ	れ	れ	れ	ラ行変格活用

(2点×3)

問五

(2)

1 連用形 2 未然形 3 連体形

(7点)

問六

(1)

空高く飛び上がっていく蜩。(13字)

(10点)

(2) ア

(10点)



歌物語

やまとものがたり
大和物語

本書↓p. 18／解説書↓p. 32

問二

ア||ア イ||エ

〈3点×2〉

問三

(1) a||イ b||カ c||ア d||イ e||イ

〈2点×5〉

問四

(1) 〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
来	(来)	こ	き	く	くる	くれ	こ(こ)よ	カ行変格活用
す	(す)	せ	し	す	する	すれ	せよ	サ行変格活用

(2) 1||おはし／イ 2||せ／ア 〈1点×5〉

3||せ／ア 4||持て来／ウ 5||来／ア

〈3点×2〉

問五

①||イ ③||エ

〈7点〉

問六

その子を、こちらへ連れて来い

〈6点〉

問七

ア

〈8点〉

問八

児との結婚の約束。(9字)

〈8点〉



日記

土佐日記
とさにつき

本書↓p. 20／解説書↓p. 36

問一

A 〓ける
B 〓る

〈5点×2〉

問二

(1) ある

〈10点〉

問三

(2) 鳥の羽のようであるのだろうか。

〈10点〉

問四

エ

〈10点〉

問五

イ

〈10点〉

10 説話

宇治拾遺物語

本書 ↓ p. 22 / 解説書 ↓ p. 40

問二

ア 消え去る イ まさか

4点 × 2

問三

① ク活用・終止形 ② シク活用・連体形

3点 × 2

問四

1点 × 3

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
白し	白	から <small>(く)</small>	かりく	し	きかる	けれ	かれ	ク活用
悲し	悲	しから <small>(しく)</small>	しく	し	しきかる	しけれ	しかれ	シク活用
いみじ	いみ	じから <small>(じく)</small>	じかり	じ	じきかる	じけれ	じかれ	シク活用

問五

ウ

7点

問六

仏の正体が大狸であったこと。(14字)

10点

問七

ア・カ

8点 × 2

古今著聞集

本書 ↓ p. 24
解説書 ↓ p. 44

問

$$\begin{array}{c} \textcircled{\text{ア}} \\ \parallel \\ \text{工} \end{array}$$

イ
||
ウ

 $\langle 2 \times 2 \rangle$

問

$$\begin{array}{c} \textcircled{a} \\ \parallel \\ \text{I} \end{array}$$
$$\begin{array}{c} \textcircled{\text{b}} \\ \parallel \\ \text{I} \end{array}$$

©
||
イ

 $\langle 2 \times 3 \rangle$

問四

(1)

1点×2

基本形	遙かなり	堂々たり
語幹	遙か	堂々
未然形	なら	(たら)
連用形	なり	たり
終止形	なり	たり
連体形	なる	たる
已然形	なれ	(たれ)
命令形	(なれ)	(たれ)
活用の種類	ナリ活用	タリ活用

問五

ウ

< 8 >

問六

イ

< 8 >

問七

(筆策と歌を聞いて、)敦兼の風雅な心映えを感じ取った(点。)

(15字)

14点

問二

ア 不審だ ① 理解する

4点×2

問三

a 〓ナリ活用形容動詞／「ほのかなり」／連用形

1点×10

b 〓ク活用形容詞／「若し」／連体形

c 〓ナ行変格活用動詞／「死ぬ」／連用形

d 〓シク活用形容詞／「いみじ」／連用形

e 〓ヤ行上二段活用動詞／「老ゆ」／連用形

f 〓シク活用形容詞／「恐ろし」／已然形

g 〓ラ行変格活用動詞／「あり」／連体形

h 〓サ行変格活用動詞／「す」／未然形

i 〓カ行上一段活用動詞／「着る」／連用形

j 〓ガ行下二段活用動詞／「逃ぐ」／連用形

エ

イ

死んだ主人の髪の毛でかつらを作るため。(19字)

ア

5点

5点

12点

10点

問二

- ① ㊦ イ・猛く ② ㊦ ウ・乗り ③ ㊦ エ・進み ④ ㊦ ア・続き

〈1点×8〉

問三

- 1 ㊦ 打つ／ウ 2 ㊦ 解い／ア 3 ㊦ いたう／イ

〈1点×3〉

問四

- (1) ㊦ ウ

〈6点〉

- (2) ㊦ ウ

〈8点〉

問五

能登殿の、安芸太郎と次郎を道連れにして自害しようとする行為。

〈30字〉

- (30字)

〈15点〉

問六

エ

〈10点〉

問一

- ① a || カ
 ② b || ウ
 ③ c || ア
 ④ d || イ
 ⑤ e || オ

〈2点×5〉

問二

エ

〈8点〉

問三

ア

〈8点〉

問四

食物足つて乏しきことなし。

〈8点〉

問五

おっしゃるけれども

〈8点〉

問六

イ

〈8点〉

15

随筆

花月草紙かげつそうし

本書 ↓ p. 32 / 解説書 ↓ p. 60

問二

ア || 効果 イ || 時

〈4点×2〉

問三

a || エ b || ウ c || イ d || ア e || カ

〈2点×7〉

問四

自分が秋に病気になること

〈10点〉

問五

そのようにおっしゃるならば

〈8点〉

問六

ウ・オ

〈5点×2〉

問二

六月・みなづき

(2点×2)

問三

① 〓 (言ってみても) 仕方がない ② 〓 頼りにする・あてにする

(3点×2)

問四

③ 〓 過去・連体形 ④ 〓 過去・連体形

(3点×2)

問五

(1)

(1点×2)

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
けり	(けら)	〇	けり	ける	けれ	〇	連用形 (力変・サ変 には未然形にも)
き	(せ)	〇	き	し	しか	〇	連用形

問六

イ

(2) 1 〓 過去・已然形 2 〓 過去・連体形 3 〓 詠嘆・終止形 (2点×3)

問七

誰が一人で旧都に残ろうか、いや誰もいない。

(6点)

問八

多くの家が集まり栄えていたが、日が経つにつれ荒れていく様子。

(30字)

(15点)

問二

ア||様子 イ||このような

〈3点×2〉

問三

a||完了・連用形 b||完了・終止形 c||強意・終止形

〈3点×3〉

問四

(1)

〈1点×2〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
ぬ	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね	連用形
つ	て	て	つ	つる	つれ	てよ	連用形

問五

(2) 1||完了・連体形 2||完了・連用形 3||強意・終止形 〈2点×3〉

問六

縁側に腰掛ける無礼な態度をとったから。(19字)

〈12点〉

問七

エ

〈6点〉

問七

ウ

〈9点〉

問

⑦ ⑧
⑨ ⑩
⑪ ⑫
⑬ ⑭
⑮ ⑯
⑰ ⑱
⑲ ⑳
㉑ ㉒
㉓ ㉔
㉕ ㉖
㉗ ㉘
㉙ ㉚
㉛ ㉜
㉝ ㉞
㉟ ㊱
㊲ ㊳
㊴ ㊵
㊶ ㊷
㊸ ㊹
㊺ ㊻
㊼ ㊽
㊾ ㊿

〈3点×2〉

問三

㉠ 完了・連体形
 ㉡ 存続・連体形
 ㉢ 存続・已然形

〈3点×3〉

問四

(1) $\langle 1 \text{ 点} \times 2 \rangle$

1点×2

り	たり	
ら	たら	未然形
り	たり	連用形
り	たり	終止形
る	たる	連体形
れ	たれ	已然形
れ	たれ	命令形
※特殊	連用形	接続

※「り」の接続…（サ変）型活用語の（未然形）及び、（四段）型活用語の（已然形・命令形）。

(2) 1 Ⅱ完了(存続)・連体形 2 Ⅱ存続・連体形

〈2点×2〉

問五

高貴な人がお亡くなりになった

〈8〉

問六

とるに足りない身分の者がどれくらい亡くなったか（ということ。）（23字）

15 点

問七

工

6点

ア Ⅱ どうしようもない
イ Ⅱ 無駄である

$$\langle 3 \times 2 \rangle$$

① 吠え…ヤ行下一段活用動詞「吠ゆ」未然形

3点×2

⑥ 思ひやら…ラ行四段活用動詞「思ひやる」未然形
れ…自発の助動詞「る」連用形

(1)

 $\wedge 1 \text{ 点} \times 2$

る	る	未然形
られ	れ	連用形
られ	れ	終止形
らる	る	連体形
らるる	るる	已然形
らるれ	るれ	命令形
られよ	れよ	
右以外の未然形	四段・ナ変・ラ変の未然形	接続

(2) 1 Ⅱ エ
2 Ⅱ ア
3 Ⅱ イ
4 Ⅱ オ
5 Ⅱ ウ

 $\langle 2 \times 5 \rangle$

犬にまでも悟られた。

＜ 8 点 ＞

鬼に姿を変え、十二類がうろたえるすきに、全員を食べてしまおう

(という「くはたて」)
(30字)
⑧点

ア

10点

問二

ア || 評判 イ || 事情・旨

問三

a || 尊敬・連用形 b || 使役・連用形

問四

(1)

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
す	せ	せ	す	する	すれ	せよ	四段・ナ変・ラ変 の未然形
さす	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ	右以外の未然形
しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	未然形
サ変「す」	せ	し	す	する	すれ	せよ	

問五

(2) ウ (1) ア

(2) 京からこっそり取り寄せた水でふたたび昭乗に文字を書かせる（とい

う方法。）（28字）

問七

エ

〈2点×4〉

〈4点〉

〈6点〉

〈7点〉

〈9点〉

〈7点〉

問二

ア お召しになる ① 思案する

〈2点×2〉

問三

(1) a 工 b オ

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×3〉

未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
む	○	む	む	め	○	未然形
むず	○	むず	むずる	むずれ	○	未然形
べし	べく (べく)	べし	べき	べけれ	○	終止形 (ラ変型には連体形)
べから	べかり	○	べかる	○	○	

(2) 1 強盗「が」 2 奪い取った「小袖をわが物と思う。」

〈2点×4〉

問五

I 強盗「が」 II 奪い取った「小袖をわが物と思う。」

〈5点×2〉

問六

② 工 ④ 工

〈4点×2〉

問七

差し上げよう。

〈5点〉

問八

ア

〈6点〉

問二 問三

(1) ウ

〈3点〉
〈1点×2〉

けむ	らむ	未然形
○	○	連用形
○	○	終止形
けむ	らむ	連体形
けむ	らむ	已然形
けめ	らめ	命令形
○	○	接続
連用形	終止形 (ラ変型には連体形)	

問四

(2)

1 ㄥキ 2 ㄥカ 3 ㄥイ 4 ㄥア
はつきりと答える人さえない。

〈2点×4〉

問五 問六

ア イ

(2) 富士の山から煙が絶えた年。(13字)

〈10点〉
〈10点〉
〈10点〉

問

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

$$\langle 3 \times 2 \rangle$$

問

① 打消推量・連体形
② 打消推量・終止形

〈3点×2〉

問四

(1) $\widehat{1 \text{ 点} \times 2}$

按続

未然形	じ	まじ
連用形	○	(まじく)
終止形	○	まじ
連体形	じ	まじかる
已然形	○	○
命令形	○	○
未然形	終止形	(ラ変型には連体形)

問五

(2) 1 打消推量 2 打消意志 3 不可能
おつしやるな。 (2点×3)
(8点)

8点

問六

11 親のもとにいてお世話をしたい (14字)

$$\langle 5 \text{ 点} \times 2 \rangle$$

問七

イ 2||全く許してくれない(9字)
 (12点)

12点

問二

ア＝驚きあきれる イ＝大声で騒ぐ

〈3点×2〉

問三

a＝ア b＝ア c＝カ d＝エ e＝オ

〈2点×5〉

問四

(1)

〈1点×3〉

伝聞・推定	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
なり	○	(なり)	なり	なる	なれ	○	終止形 (ラ変型には連体形)
断定 なり	なら	なり	なり	なる	なれ	なれ	体言・連体形
断定 たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	体言

(2) 1＝オ 2＝ウ 3＝ア 4＝ア

〈1点×4〉

問五

大勢で来る音がするようだ。

〈5点〉

問六

自分が座るはずの場所に新しい不動尊が座っていたから。(26字)

〈15点〉

問七

エ

〈7点〉

25 物語

竹取物語
たけとりものがたり

本書 ↓ p. 52 / 解説書 ↓ p. 100

問二

㊦ 結婚する ㊩ 並ひととりだ

〈4点×2〉

問三

(1) 発音 ㊦ アンメレ 音便を使わない形 ㊦ あるめれ

〈2点×2〉

問四

(1) ア / 活用の種類 ㊦ シク (活用) 活用形 ㊦ 連体 (形)

〈2点×2〉

めり	○	(めり)	めり	める	めれ	○	終止形 (ラ変型には連体形)
	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続

(2) 1 ㊦ ある / あるそうな

〈2点×2〉

2 ㊦ をかしかる / おもしろいはずのことだろう

問五

ア

〈8点〉

問六

かくや姫の見たいた物を持つてくること。(18字)

〈13点〉

問七

エ

〈8点〉

問

① 比況・連用形 ② 反実仮想・未然形

〈3点×2〉

問三

(1)

〈1点×4〉

ごとし	たし	まほし	まし	未然形
(ごとく)	たから	まほしから	ましか (ませ)	連用形
ごとく	たかり	まほしかり	○	終止形
ごとし	○	○	まし	連体形
ごとき	たかる	まほしかる	まし	已然形
○	○	○	ましか	命令形
○	○	○	○	接続
体言・連体形 助詞「が」の	連用形	未然形	未然形	

問四

まったく知らないので

6点

問五

(1) このような心を起こさなかったならば、極樂、天上界にもきつと生まれただろうに。

〔8点〕

< 8 >

問六

敵のことを子孫の代までも恨み続ける心。(19字)

10点

問二

ア 〓 仏道修行をする イ 〓 筆跡

(3点×2)

問三

a 〓 受身・連用形 b 〓 意志・終止形

(3点×4)

c 〓 使役・連用形 d 〓 打消・連用形

問四

1 〓 尊敬 2 〓 反実仮想 3 〓 打消推量 4 〓 願望

(2点×4)

問五

帝に先立たれ申し上げたので、

(6点)

問六

エ

(5点)

問七

帝の死を悲しむ涙。(9字)

(5点)

問八

ウ

(8点)

問二

ア 〓すばらしい　イ 〓ああひどい

〈3点×2〉

問三

(1)　a 〓完了の助動詞「たり」終止形

〈2点×2〉

c 〓完了の助動詞「ぬ」連体形

(2) 〓落ち（タ行上二段活用動詞「落つ」連用形）／に（完了の助動詞「ぬ」

連用形）／けり（過去の助動詞「けり」終止形）

〈2点×3〉

問四

1 〓いらつしゃったのだろう

〈2点×4〉

2 〓たなら　3 〓あった　4 〓たい

〈2点×4〉

問五

ウ

〈4点〉

問六

(1)　刈り落としてしまった。

〈4点〉

(2)　1 〓扇

〈4点〉

2 〓身分をわきまえず無礼だと怒った（15字）

〈7点〉

問七

イ

〈7点〉

無名抄 むみょうしやう

本書 ↓ p. 60 / 解説書 ↓ p. 116

問二

ア || 一般に イ || めったにない

〈3点×2〉

問三

a || 婉曲・終止形 b || 存続・連体形 c || 推量・連体形

〈3点×3〉

問四

1 || 推定 2 || 打消推量 3 || 比況 (例示)

〈2点×3〉

問五

逢坂の関の清水は走井と同じものではない。

〈6点〉

問六

ア

〈6点〉

問七

どうしてご案内申し上げないだろうか、いやご案内申し上げよう。

〈6点〉

問八

エ

〈11点〉

問一

㊦ ㊦ むなしい ㊩ ㊦ たがいに

〈2点×2〉

問二

あしびきの

〈2点〉

問三

A ㊦ あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の

〈2点×2〉

B ㊦ みかの原 わきて流るる いづみ川

〈2点×2〉

問四

「枯れ」と「離れ」

〈2点×2〉

問五

・長雨が降っていた間に ・もの思いにふけていた間に

〈3点×2〉

問六

(1) 1 ㊦ ア 2 ㊦ オ 3 ㊦ ウ 4 ㊦ エ 5 ㊦ イ

〈1点×5〉

(2) 1 ㊦ 「秋」と「飽き」 2 ㊦ 「松」と「待つ」

〈2点×2〉

問七

(1) 初句切れ

〈2点〉

(2) エ

〈3点〉

問八

「滝」 ㊦ 「流れ」 「音」 ㊦ 「聞こえ」

〈2点×2〉

問九

A ㊦ カ B ㊦ エ C ㊦ イ D ㊦ ウ E ㊦ ア F ㊦ オ

〈2点×6〉